

# RYOBI®

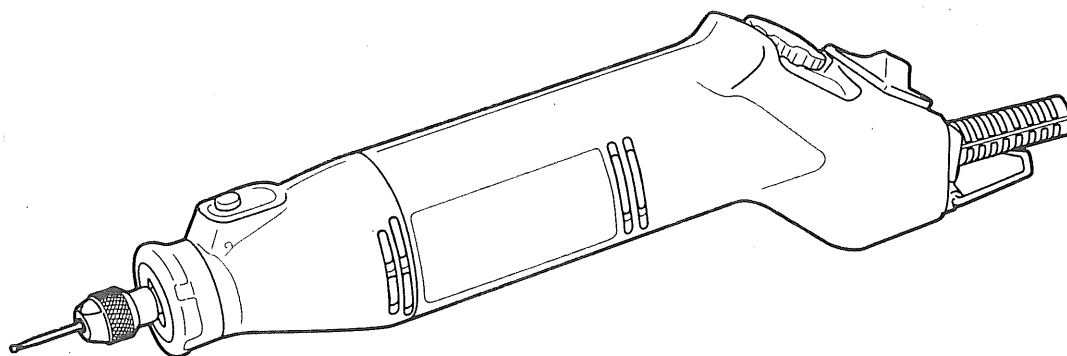
## ホビールータ

### HR-100SK

#### 取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



#### —— もくじ ——

- ・安全上のご注意 ..... 1～4
- ・各部の名称 ..... 5
- ・仕様・用途 ..... 5
- ・別販売品(先端工具) ..... 6～7
- ・操作方法 ..... 7～8
- ・先端工具の取付け・取外し... 9～12
- ・ご使用方法 ..... 13～14
- ・保守と点検 ..... 14～15



二重絶縁

6984753 (M)

このたびは、リョービホビールータをお買上げいただきありがとうございます。  
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本体の能力、使用方法など十分にご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

## 注意文「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

## ■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### △ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ・電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
  - ・作業場は十分に明るくしてください。
  - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
  - ・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
  - ・作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
  - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。
  - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
  - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
  - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
  - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
  - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
  - ・騒音の大きい作業では、耳栓・イヤマクなどの防音保護具を着用してください。
11. コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
  - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
12. 加工する物をしっかりと固定してください。
  - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
13. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
14. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
  - ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
  - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
  - ・使用しない、または修理する場合。
  - ・刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
  - ・その他危険が予想される場合。
16. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
  - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
17. 不意な始動は避けてください。
  - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
  - ・プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
  - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
19. 油断しないで十分に注意して作業を行なってください。
  - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
  - ・常識を働かせてください。
  - ・疲れている場合は、使用しないでください。

20. 損傷した部品がないか点検してください。
  - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
  - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
  - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
21. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
  - ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
22. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
  - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
  - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

## 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

## ホビールータご使用上のご注意

先に一般工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、ホビールータとして、さらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

### △ 警 告

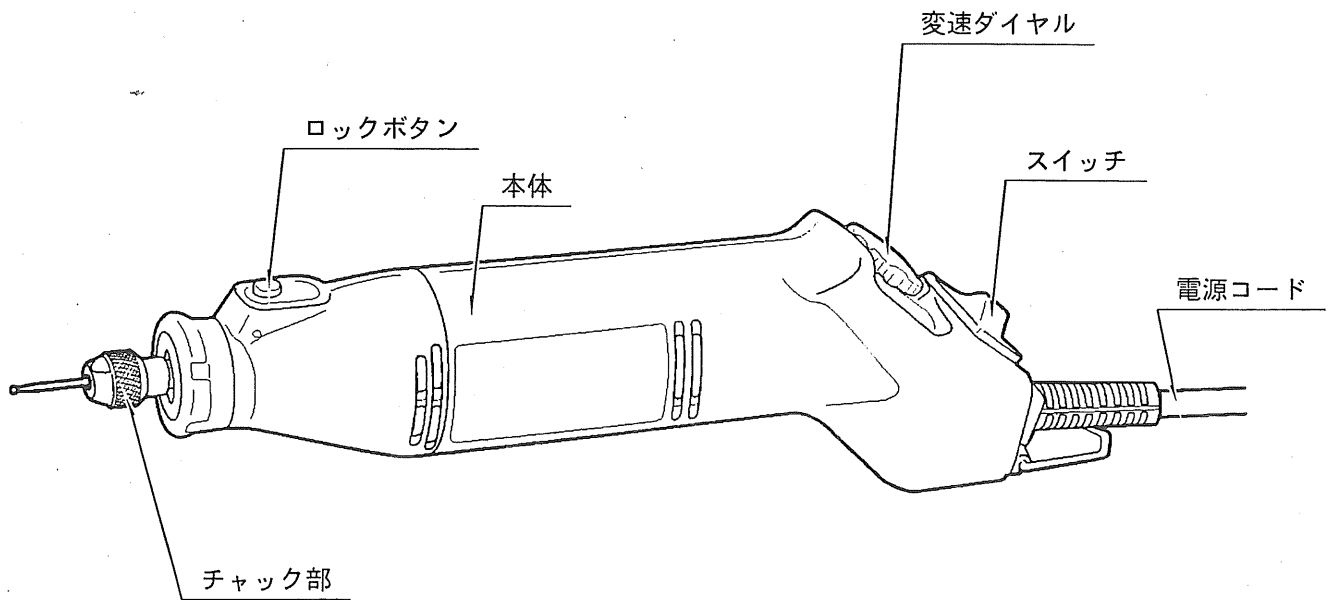
1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速になりけがの原因になります。
2. 使用に際しては、安全のため保護めがねを着用してください。  
また、切削、研削粉塵を吸込まないようにマスクの着用を心掛けてください。
3. 先端工具（アクセサリー）は純正品もしくは同等品を使用してください。
  - ・異なるものを使用されると、過負荷からモーター焼けなど故障の原因となるだけでなく、けがの原因になります。
4. 先端工具（アクセサリー）の軸が曲がったものや、砥石などにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
  - ・異常があると、先端工具（アクセサリー）が破損し、けがの原因になります。
5. 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。
  - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
6. 水、研磨液などは使用しないでください。
  - ・感電事故のもとになります。
7. 本体を、万力などで固定した使い方はしないでください。
8. 使用中は、回転部に手や顔を近づけないでください。
  - ・けがの原因になります。

9. 砥石を用いて切断作業をする場合は、切断砥石を使用してください。
  - ・切断砥石以外の砥石を使用しますと、破損し、けがの原因になります。
10. 加工する材料は確実に固定してください。特に、小さい材料を加工する場合はバイス等で動かないように固定してください。
  - ・加工材が不安定ですと、けがの原因になります。
11. 切断砥石、小径丸ノコは、無理に押付けての切断はしないでください。
  - ・無理に押付けますと、切断砥石、小径丸ノコが割れ、けがの原因になります。
12. 作業前に、刃物の回転方向側に人がいないことを確認してください。また引火しやすいものは安全な場所に遠ざけてください。
  - ・研削粉は火花となって飛散するので、火災や、やけどの原因になります。
13. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に点検、修理を依頼してください。
  - ・そのまま使用していると、事故の原因になります。
14. 誤って落としたり、ぶつけたときは、先端工具や本体などに破損や亀裂、変形などがないことをよく点検してください。
  - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

### △ 注 意

1. 先端工具（アクセサリー）は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
  - ・確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 新しい砥石を取付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から一時身体を避けてください。
  - ・砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
3. 指定以外の刃物での切断作業はしないでください。
4. コードを引張ったり、引掛けたりしないようにしてください。
5. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
  - ・けがの原因になります。

## ■各部の名称



## ■仕様

- 電源 ..... 単相、交流 100V 50/60Hz
- 消費電力 ..... 100W
- 無負荷回転数 ..... (No)8,000~23,000min.<sup>-1</sup> (8,000~23,000回/分)
- 重量 ..... 450 g
- 絶縁方法 ..... 二重絶縁
- チャックサイズ (径) .....  $\phi 2.4\text{mm}$ 、 $\phi 3.0\text{mm}$
- 付属品 ..... コレット  $\phi 2.4\text{mm}$  (本体組込)  
コレット  $\phi 3.0\text{mm}$   
片口スパナ  
ハイスビット 6本組  
キャリングケース

## ■用途

- ガラス彫刻、一般彫刻、彫金、金型修正、模型工作、金属の磨きなど。  
用途に合わせた別販売品 (アクセサリ) を用意してください。付属品のハイスビットは鉄、アルミ、真鍮の彫刻、切削用です。

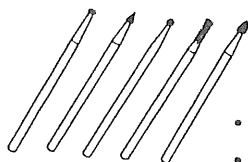
## ■別販売品 先端工具（アクセサリー）

### ⚠ 警告

・必ず指定の純正品もしくは同等品の先端工具（アクセサリー）を使用してください。異なるものを使用すると、過負荷からモーター焼けなど故障の原因となるだけでなく、けがの原因になります。

#### ● 710ハイスビット

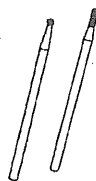
（用途）鉄、アルミ、真鍮の彫刻、切削。



- ・軸径 /  $\phi 2.35\text{mm}$
- ・刃先径 /  $\phi 2.3\text{mm} \cdot \phi 3.1\text{mm}$
- ・材質 / H.S.カッター

#### ● 790ダイヤビット

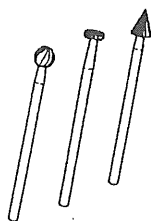
（用途）ガラス、陶器の彫刻、研磨。



- ・軸径 /  $\phi 2.35\text{mm}$
- ・刃先径 /  $\phi 1.8\text{mm}$
- ・材質 / ダイヤモンド砥石

#### ● 720ハイスビット

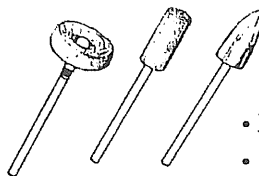
（用途）鉄、アルミ、真鍮、プラスチックの彫刻、切削。



- ・軸径 /  $\phi 2.35\text{mm}$
- ・刃先径 /  $\phi 5.0\text{mm}$
- ・材質 / S.K.カッター

#### ● 800純毛バフ

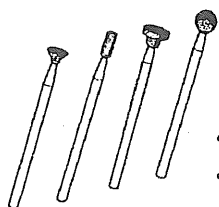
（用途）磨き用。



- ・軸径 /  $\phi 2.35\text{mm}$
- ・バフ径 /  $\phi 8\text{mm} \sim \phi 16\text{mm}$
- ・材質 / 純毛バフ

#### ● 770軸付砥石

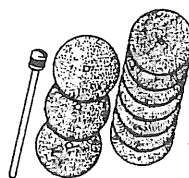
（用途）ガラス、宝石、鋼の彫刻、研磨。



- ・軸径 /  $\phi 2.35\text{mm}$
- ・砥石径 /  $\phi 3.0\text{mm} \sim \phi 7.0\text{mm}$
- ・材質 / G.C.砥石

#### ● 810切断砥石

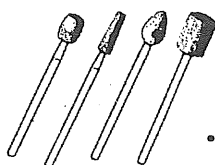
（用途）細い(うすい)金属、ガラス、ファイバーの切断。



- ・軸径 /  $\phi 2.35\text{mm}$
- ・切断砥石径 /  $\phi 22\text{mm}$
- ・材質 / レジ砥石

#### ● 771軸付砥石

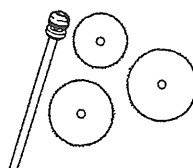
（用途）鉄、ガラス、陶器、宝石への彫刻、研磨。



- ・軸径 /  $\phi 2.35\text{mm}$
- ・砥石径 /  $\phi 3.0\text{mm} \sim \phi 8.0\text{mm}$
- ・材質 / G.C.砥石

#### ● 830小径丸ノコ

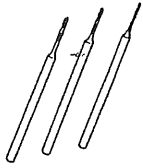
（用途）木、アルミ、プラスチックの切断。



- ・軸径 /  $\phi 2.35\text{mm}$
- ・丸ノコ径 /  $\phi 16\text{mm} \cdot \phi 19\text{mm} \cdot \phi 22\text{mm}$
- ・材質 / 鋼丸ノコ

● 850ミニドリル

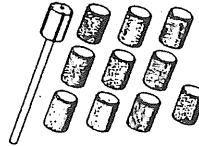
(用途) 金属、非鉄金属の穴あけ。



- ・軸径 /  $\phi 2.35\text{mm}$
- ・ドリル径 /  $\phi 0.5\text{mm}$ ・ $\phi 0.8\text{mm}$   
 $\phi 1.0\text{mm}$
- ・材質 / H.S.ドリル

● 980ロールペーパー

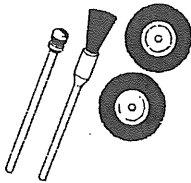
(用途) 研磨、仕上げ (内側、穴の研磨にも)。



- ・軸径 /  $\phi 3.0\text{mm}$
- ・ロールペーパー /  
(外径)  $10\text{mm}$  × (内径)  $8\text{mm}$  ×  $10\text{mm}$
- ・材質 / #120ペーパー

● 960ワイヤブラシ

(用途) 鉄、非鉄金属の磨き。



- ・軸径 /  $\phi 2.35\text{mm}$
- ・ブラシ径 /  $6\text{mm}$ ・ $22\text{mm}$
- ・材質 / 真鍮ワイヤブラシ

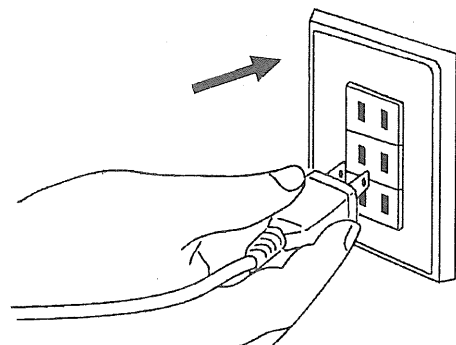
■ 操作方法

● 電源の接続とスイッチ操作

⚠ 警告

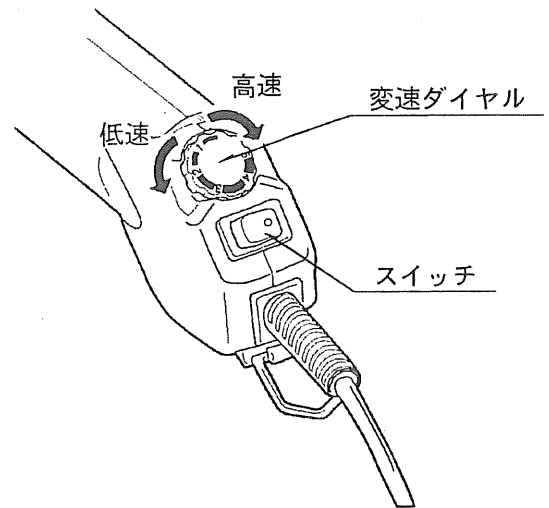
- ・電源プラグを電源コンセントに接続するときは、必ずスイッチが切れていることを確認してください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速になり、けがの原因になります。
- ・使用後や点検、先端工具 (アクセサリ) の交換の際はスイッチを切り、必ず電源プラグを電源コンセントから外してください。

- 電源プラグを所定の電源コンセントに確実にさし込んで接続します。電源の接続ができましたら、スイッチを操作します。





- スイッチは○の付いた方を押すと入り (ON)、マークのない方を押すと切る (OFF) となります。



### ●速度調整について

- スイッチ上の変速ダイヤルを右にまわすと高速となり、左にまわすと低速になります。
- 加工材の材質、お使いになる先端工具 (アクセサリー) に合わせて下記表を目安に回転速度を調節してください。

(表 1)

変速ダイヤル位置	無負荷回転数 (min. <sup>-1</sup> )
1	8,000 ~ 12,000
2	12,000 ~ 14,000
3	15,000 ~ 18,000
4	18,000 ~ 21,000
5	21,000 ~ 23,000

(表 2)

先端工具名 (アクセサリー)	最高使用回転数 (min. <sup>-1</sup> )	変速ダイヤル推奨範囲
ハイスビット(付属品)	25,000	3 ~ 5
710 ハイスビット	25,000	3 ~ 4
720 ハイスビット	25,000	3 ~ 4
770 軸付砥石	25,000	4 ~ 5
771 軸付砥石	25,000	1 ~ 5
790 ダイヤビット	25,000	3 ~ 5
800 純毛バフ	20,000	2 ~ 3
810 切断砥石	25,000	2 ~ 4
830 小径丸ノコ	20,000	1 ~ 3
850 ミニドリル	25,000	1 ~ 5
960 ワイヤブラシ	15,000	1 ~ 2
980 ロールペーパー	25,000	2 ~ 4

## ■先端工具の取付け、取外し

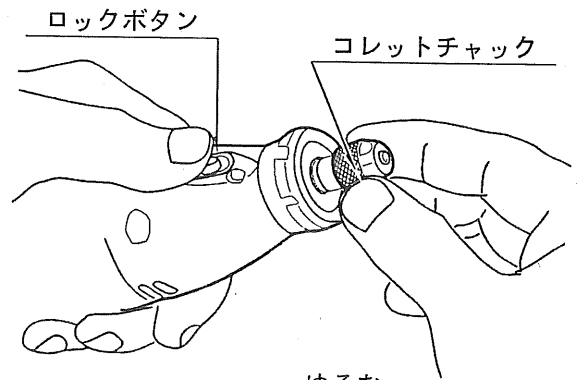
### ⚠ 警告

- 先端工具（アクセサリ）などの取付け、取外しの際はスイッチを切り、必ず電源コードを電源プラグより抜いてください。不意な始動による、けがの原因になります。
- 必ず指定の純正品もしくは同等品の先端工具（アクセサリ）を使用してください。異なるものを使用すると、過負荷からモーター焼けなど故障の原因になるだけでなく、けがの原因になります。
- 作業に入る前には必ず試運転をしてください。
- スイッチを入れる前にはスパナなどの工具を必ず取外してください。また、必ずロックボタンが戻っていることを確認してからスイッチを入れてください。

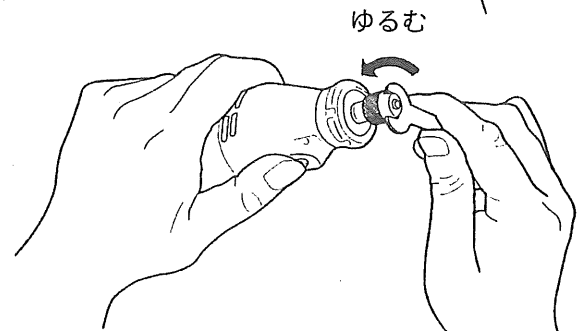
### ⚠ 注意

- 先端工具（アクセサリ）などは取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。

- ロックボタンを軽く押えながら、コレットチャックを指で回し、回転軸が固定される位置を捜し、固定します。

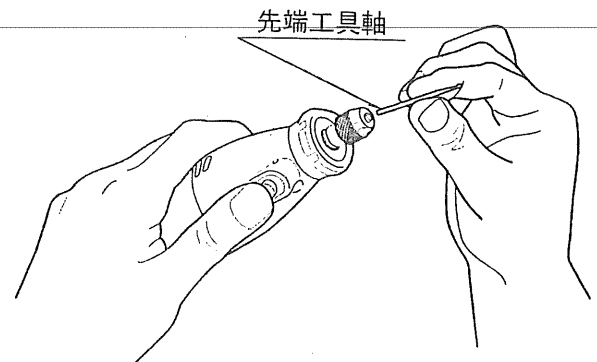


- そのまま、ロックボタンを押え、付属品の片口スパナでコレットチャックを回してゆるめます。

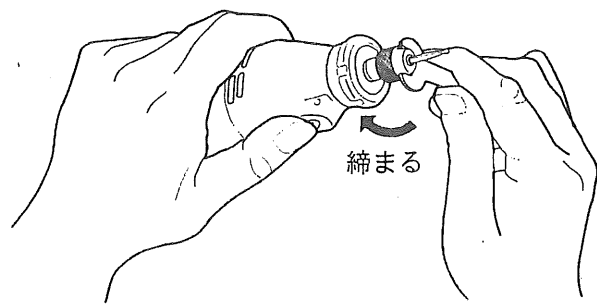


### ● 軸径 $\phi 2.35\text{mm}$ の先端工具

- 工場出荷時に  $\phi 2.4\text{mm}$  のコレット（白）がセットされています。
- 軸径  $\phi 2.35\text{mm}$  の先端工具（アクセサリ）を取付けるときは、コレットチャックをゆるめ（コレット（白）を抜取らないで）、チャックの先端に、先端工具（アクセサリ）の軸をさし込みます。確実に奥に当たるまで入れてください。
- ロックボタンを押え（回転軸を固定し）たまま、片口スパナを使いコレットチャックを締め、先端工具（アクセサリ）の軸を固定します。

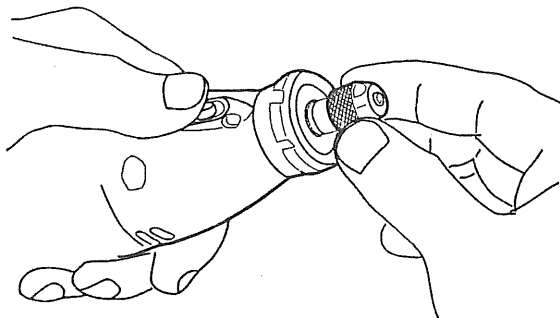
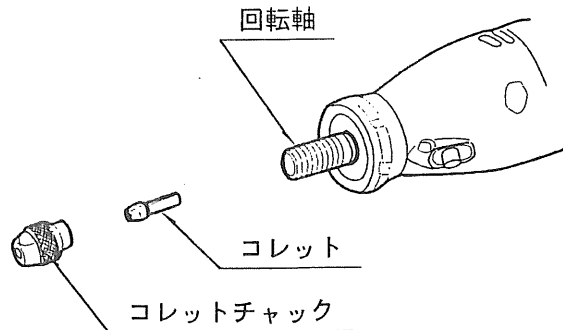


- 先端工具（アクセサリ）を抜取るときは、ロックボタンを押えて回転軸を固定します。  
つぎに、コレットチャックを片口スパナを使ってゆるめ、先端工具の軸を引抜きます。

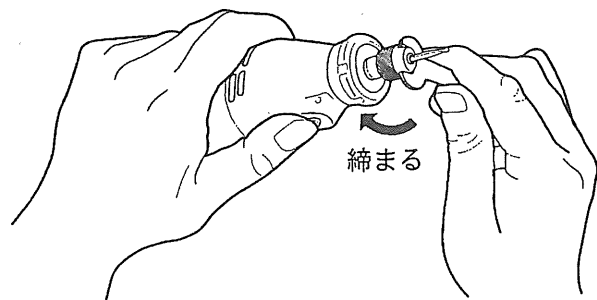


### ● 軸径 φ3.0mmの先端工具

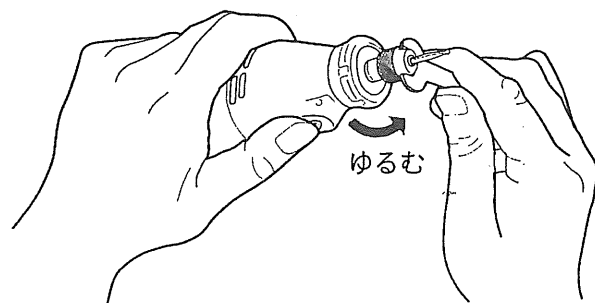
- コレットチャックをゆるめ、取外します。そのまま、φ2.4mmのコレット（白）を回転軸先端より取外します。
- φ3.0mmのコレット（黒）を回転軸先端に合わせ、入れます。つぎに、コレットチャックをかぶせ、抜落ちない程度に指で軽く締めます。  
(注) 締めすぎると、あとで先端工具（アクセサリ）の軸が入りません。



- 先端工具（アクセサリ）の軸を、チャックの先から奥に当たるまで入れます。
- 片口スパナを使って確実にコレットチャックを締め付け、軸を固定します。



- 先端工具（アクセサリ）を取外すときは、ロックボタンを押えて回転軸を固定し、片口スパナを使ってコレットチャックをゆるめます。
- チャックをゆるめたのち、先端工具の軸を引抜きます。
- φ2.4mmのコレット（白）に戻すときも、同様の操作で交換します。

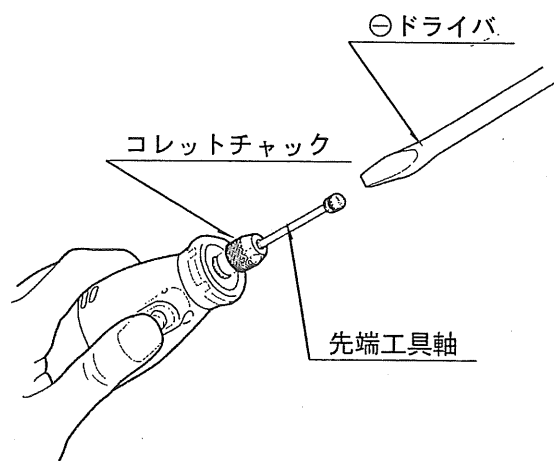


## ●810切断砥石、830小径丸ノコ、960ワイヤブラシ

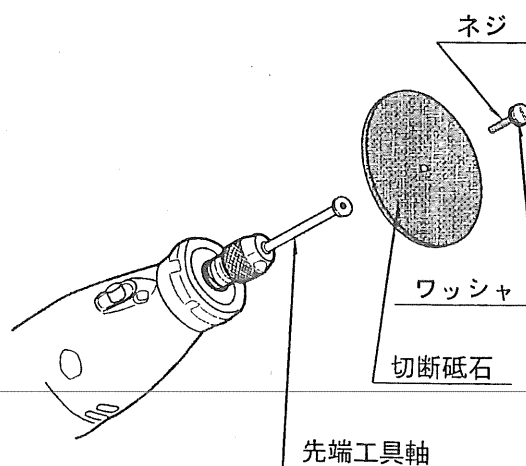
### △ 警告

- 切断砥石は薄くて割れやすいので、取扱いには充分注意してください。
- ヒビや欠けのあるものは絶対に使わないでください。けがの原因になります。
- 必要以上に締付けると割れやすくなります。また、締付けのゆるいものは、けがの原因になります。軸への取付け後は、身体から離れた状態で、必ず試運転をしてください。

- 先端工具（アクセサリー）の軸をペンチまたは、ホビールータのチャックでつかみ、確実に固定したのち、お手持ちの⊖ドライバで軸先端のネジをゆるめ、取外します。

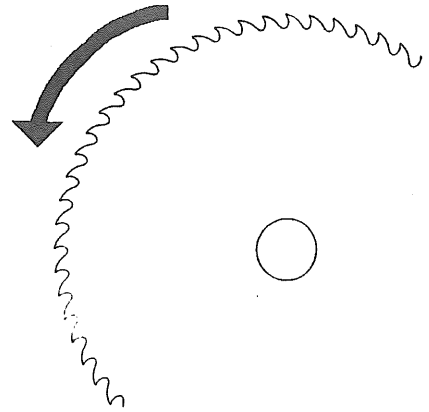


- お使いになる、切断砥石（またはワイヤブラシ、小径丸ノコ）の中央穴に、ネジの軸を通したのち軸にネジを締付けて、取付けます。

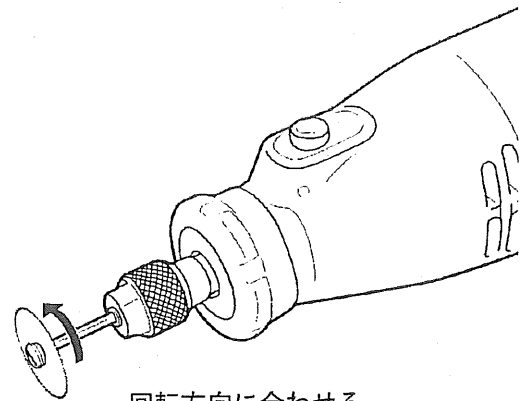


- 小径丸ノコの場合は回転方向を確認したのち、軸に取付けてください。

(注) 刃先の向きに十分注意をしてください。反対に取付けますと、切断できないだけでなく、刃物が使用できなくなります。



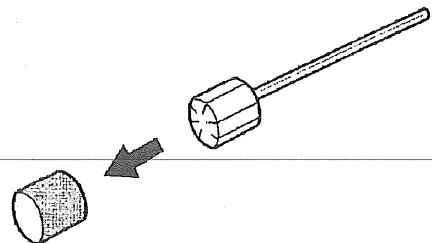
- 取付けは軸と垂直に固定されるよう、確実に締付けてください。
- 使用に際しては、時々ゆるみなどが無いよう点検してください。



回転方向に合わせる

- 980ロールペーパー

- ロールペーパーの内側へ、軸先端のゴム部分を指で押え、押込みます。確実にセットしてください。



## ■ご使用方法

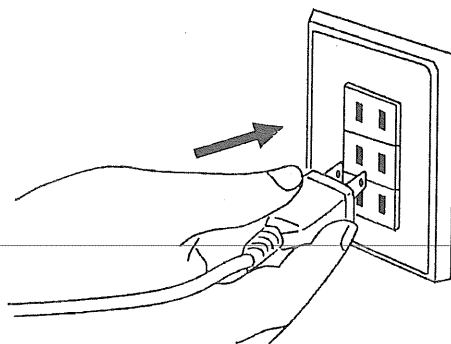
### ⚠ 警 告

- 巻込み事故防止のため、手袋等の着用は絶対にしないでください。
- 目を保護する保護めがねを着用してください。また、切削、研削粉塵を吸込まないようにマスクを着用してください。
- 作業中は、目を先端工具部分に近づけないでください。けがの原因になります。
- 機体や先端工具（アクセサリ）に衝撃をかけますと砥石にヒビが入ったり割れたりする恐れがありますので、取扱いには十分注意してください。
- 加工する材料は確実に固定してください。特に小さい材料を加工する場合はバイス等で動かないように固定してください。加工材が不安定ですと、けがの原因になります。
- 作業前に刃物の回転方向側に人がいないことを確認してください。また引火しやすいものは安全な場所に遠ざけてください。研削粉は火花となって飛散するので、火災ややけどの原因になります。
- 切断砥石、小径丸ノコ使用の時は、本体をこじらずに一定の角度を保って作業をしてください。本体をこじって使用しますと、砥石、丸ノコの変形、破損によるけがの原因になります。
- 必要以上に押付けないでください。作業効率が悪いだけでなく、機械に余分な負担がかかり、故障や先端工具（アクセサリ）の変形、破損事故の原因となります。
- 万一機体を誤ってぶついたり、落としたりしたときは必ず砥石のヒビ割れや、機体に破損などが無いことを十分ご確認ください。破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

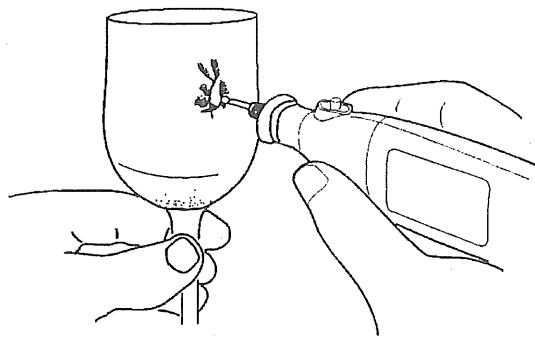
### ⚠ 注 意

- 高価な材料、および滑りやすい材料を加工する場合は、加工材をしっかりと保持固定し、慎重に作業を行なってください。
- 作業中は、ロックボタンにさわらないでください。誤って押しますと、けがの原因になることがあります。

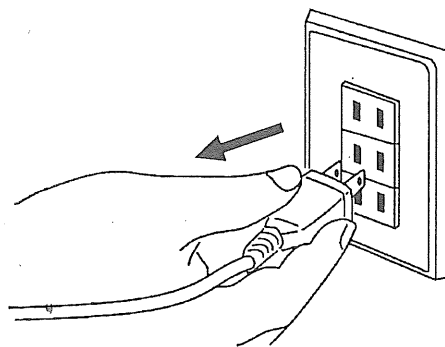
- 電源プラグを電源コンセントに接続する前に、先端工具（アクセサリ）がチャック部に確実にセットされていることを確認してください。
- 身体を安定した姿勢にし、加工材をしっかりと保持するか、ものによっては固定するなどしてください。
- スイッチが切る（OFF）、となっていることを確認してから、電源を接続します。
- スイッチを入れ（ON）、適正な回転速度を設定し、回転が安定してから作業を開始してください。
- 回転がいちじるしく落ちるほど、強く押えて使用しないでください。
- 作業の途中で、先端工具（アクセサリ）を交換するときは、スイッチを切った（OFF）のち、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



- 先端工具が熱くなっていることがあります。手でさわっても熱くない程度まで冷えたことを確認してから、交換作業をしてください。
- 作業中、機体が熱くなったときは一旦作業を中断し、冷えてから再開してください。



- 使用後は、スイッチを切った（OFF）のち、電源コンセントから、電源プラグを抜いてください。
- 電源プラグは、必ず手で持って抜いてください。コード部分を持って引抜かないでください。
- 回転が止まっていることを確認してから、粉塵などを取除き、次回の使用に備えてください。



## ■保守と点検

### ⚠ 警告

- 保守、点検、部品交換等のお手入れの前にスイッチを切り、電源プラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。

### ●各部取付ネジの点検

- 各部を点検し、ビスなどのゆるみがないか、確認してください。ゆるみがある場合は締直してください。

### ●使用後の手入れ

- 使用後は、粉塵などを取除いたのち先端工具（アクセサリ）を取外して保管してください。
- 先端工具（アクセサリ）は乾いた布で軽く汚れをふき取るようにしてください。チャック部分には、サビ防止のため薄くサビ止め油を塗っておいてください。
- 油汚れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

## ●作業後の保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

## ●修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。  
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観等を変更することがあります。

**RYOBI**

発売元

リョービ販売株式会社

製造元

リョービ株式会社

